

地域の皆さまとつなぐ医療の輪

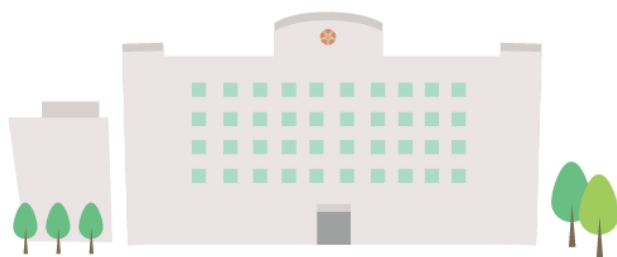
連携だより

No. 34

2020.12

Contents

特集：栃木県初
FFRCTを導入しました！



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜財団 済生会宇都宮病院



栃木県初！北関東4県で2施設目

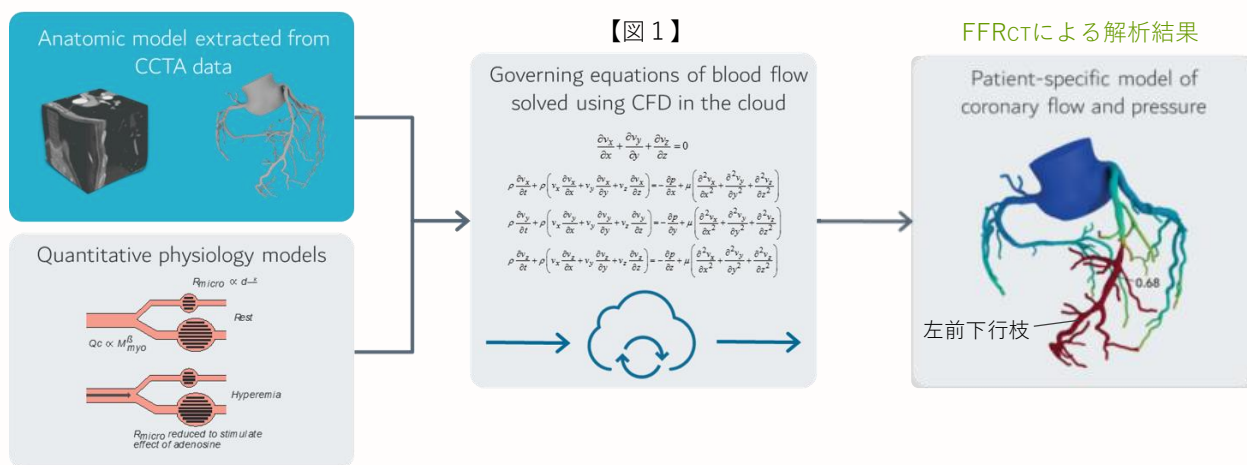
FFR_{CT}を導入いたしました

～AIの技術で体内に管を入れなくても狭心症の診断が可能に～

2020年10月、当院はFFR_{CT}を導入いたしました。これは、狭心症の疑いがある方に対して行う検査であり、本来入院しカテーテル検査を施行することで測定できた値を、痛みを伴わずにコンピュータによるシミュレーションで測定できます。北関東4県では2施設目、栃木県内では初の導入となります。

最新のFFR_{CT}について

FFR_{CT}は、冠動脈CTのデータをもとに、流体力学解析によって算出された血流動態から、冠動脈の各部位における血流を仮想的にFFR_{CT}値として算出するプログラムで（図1）、冠動脈CTで中等度狭窄を認めた場合、この結果を用いることで、心臓カテーテル検査を施行しなくても、治療を行う必要があるかについて痛みを伴わずに診断できるようになりました



右端の図〔FFR_{CT}による解析結果〕では左前下行枝と呼ばれる血管が赤で示されていますが、狭くなった部分が実際に血液の流れが滞り治療が必要である、例えるなら「赤信号」であることを示しています。図の数値は、本来であれば痛みを伴うカテーテル検査でしか測定できないFFR（冠血流予備比）と呼ばれる値です。0.75-0.80以上であれば治療を要さない狭窄ですが、この図の結果では0.69と低下しており、血液の流れが低下して実際に心臓に悪い影響を与えていることを示しています。

FFR_{CT}の特徴とメリット

FFR_{CT}を使用した解析は、痛みを伴わない検査（非侵襲的検査）で患者さんに優しい検査です。冠動脈CT検査の画像データをもとに、上記の通り最新のコンピュータ技術で解析を行い、狭窄が心臓の働きにどのように影響するかを、患者さん個別の冠動脈3Dモデルで解析結果を確認できます。

外来での検査が可能で、追加の検査も不要なため、X線被ばくや造影剤の使用がない点も良い点です。



FFRCTの費用について

2018年12月に保険償還されましたが、施設基準の関係で施行できるのは、現在のところ栃木県内では当院だけになります。

患者さんの窓口負担は冠動脈CTも含めて約37,000円になります（3割負担の場合）。米国の専門機関に解析を依頼しますが、翌日には結果が出ますので、再診していただき結果をご説明します。

ご留意いただきたい点について

冠動脈CTの結果、中等度狭窄を認めなかった場合や、ステント再狭窄の診断目的では、FFRCT解析ができかねますので、対象になるのは冠動脈CTを受けられる患者さんの一部ですが、当院で2020年10月から施行可能になっております。

また保険の関係で、他院で撮影されたデータを用いた解析ができかねますので、冠動脈CTを依頼される際の、参考にしていただければ幸いです。

循環器内科へのご紹介について

- ・月曜～金曜は毎日循環器内科専門医が内科外来で診察しております。
「循環器内科担当医」宛の紹介状をお持ちいただき11時までに受付いただければ、循環器内科専門医が拝見いたします。
- ・地域連携課を通して循環器内科専門医の診察予約も可能です。
また冠動脈CT検査のみのご予約も可能ですので、お気軽に下記までお問い合わせください。

地域連携課

☎ TEL【直通】028-626-5595

☎ FAX【直通】028-626-5795

🕒 月曜日～金曜日 / 9:00～17:00 土曜日 / 9:00～12:00

連絡先



筆者紹介

循環器内科 医長
心臓カテーテルセンター長
しもじ けんいちろう
下地 顕一郎

【専門医認定等】

医学博士
日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベーション治療学会認定医
日本心血管インターベーション治療学会専門医
日本心血管インターベーション治療学会代議員
日本慢性完全閉塞インターベンション専門家会議認定術者
ロータプレーター治療指導医(プロクター)
ADR治療指導医(プロクター)

地域連携課からのお知らせ

済生会地域包括ケア連携士として進めるソーシャルインクルージョン
～コロナ禍の中でいのちをつなぎたい～

「学生応援 食料品配布と相談会」を開催



学生の相談に応じる当院のMSW

コロナ禍で通常の生活を送る事が出来ない日常が続いている中で全国的に自殺者が増加しています。中でも特徴的なことは、若者・大学生の自殺が増加していることで、宇都宮市でも同様の傾向が伺えることから当院では早急に自殺防止を図る支援の必要性を感じていました。そこで、当課の荻津守参与（MSW）が「地域全体で自殺の防止を図りたい」と呼びかけ動き出しました。日頃から連携するNPO法人「フードバンクうつのみや」と事態の深刻さを共有し、早急に食糧支援を行う運びとなり、当院から非常時備蓄品のパンの缶詰を312缶提供、賛同病院等からは、新米3kgを120袋やお菓子、レトルト食品等も提供頂き、10月31日食料品配布会と相談会を開催しました。

困った時に相談出来る窓口があることを伝えるために、「いのちの電話」や「よりそいホットライン」等の相談機関にも協力を呼びかけ、リーフレットやポケットティッシュ等（済生会のウェットティッシュ・カットパン・手ピカジュール・医療支援の案内）を用意し、配布食品の中に同封しました。

当日は、当院のMSW以外にも、県、市保健所、市社会福祉協議会、報徳会宇都宮病院等が協力し支援にあたりました。地域の相談窓口が一同に参加しワンストップの相談が出来た事や、顔の見える連携に繋がり地域力が高まりました。



参加した学生からは「留学生だがアルバイトがなく帰国も出来ないので、食品をもらえて嬉しかった上に仕事の世話までしてもらい感謝している」、「食費等が大変で病院へ行くお金がなく困っていたが相談出来ることが分かって良かった」、「友達が引きこもって心配なので相談窓口を教えてあげたい」などの感想を頂きました。

一般外来に関するお知らせ【令和3年1月からの土曜日診療体制】

以前よりご案内しておりますが、改めて来年1月からの土曜の診療体制についてお知らせいたします。当院ではこれまで、毎週土曜日の午前中に外来診療を行って参りましたが、**令和3年1月より、第2土曜日の診療を休診**とさせていただくことといたしました。皆様にはご不便とご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、救急医療につきましては、従前どおり24時間体制で対応させていただきます。

ビグアナイド系糖尿病薬を投与されている患者さんへの 造影CT時のヨード造影剤投与に関して「運用改定」のお知らせ

令和2年3月18日、日本糖尿病学会のメトホルミンの適正使用に関するRecommendationが改訂され、eGFR30～60ml/min/1.73m²の患者さんへヨード造影剤を投与する場合のメトホルミン休薬指示は投与後のみと簡略化されました。

それに伴い、11月より、当院においてもビグアナイド系糖尿病薬を投与されている患者さんへの造影CT時のヨード造影剤投与に関して、造影剤投与前後の休薬期間について以下の通り変更させていただくこととしました。

■ ビグアナイド系糖尿病薬の造影剤投与前後の休薬期間変更点について

※変更点のみ赤字記載

変更前		変更後	
造影CT検査前	検査前より 48時間服用中止	造影CT検査前	通常通り服用
造影CT検査後	検査後より48時間 (造影後翌々日まで) 服用中止	造影CT検査後	検査後より48時間 (造影後翌々日まで) 服用中止

WEB勉強会のお知らせ

先生方には、日頃より当院の医療活動へのご支援・ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。
先般送付いたしましたWEB勉強会について再度お知らせいたします。

【第3回 心不全多職種 WEB勉強会】 日時：令和2年12月3日(木)19時～

- * 内容 1.かかりつけ医による併存症の管理 循環器内科 主任診療科長 上野 耕嗣
a.高血圧、糖尿病、心房細動、冠動脈疾患、慢性腎臓病
2.心不全(リスク)患者の栄養指導 管理栄養士 阿久津 貴子
a.減塩指導 b.糖尿病、脂質異常症、慢性腎臓病患者でのワンポイントアドバイス
3.心不全に対する運動療法 理学療法士 石川 恭平
a.運動療法の意義と考え方 b.導入、指導のポイント
座長：仲嶋医院 院長 仲嶋 秀文 先生

【腎疾患地域医療連携オンライン講演会】 日時：令和2年12月17日(木)19時～

- * 内容 テーマ：多発性嚢胞腎（ADPKD）
一般講演：当院における多発性腎嚢胞の治療現状
泌尿器科 主任診療科長 ロボット手術センター長 戸邊 豊総
特別講演：われわれに可能な最適なADPKD治療とは何か？（仮）
順天堂大学医学部 泌尿器科学 特任教授 武藤 智 先生
座長：副院長 腎臓内科 主任診療科長 大久保 泰宏

※まだお申し込みいただいていない先生方で参加をご希望の場合は、地域連携課（TEL:028-626-5595）までご連絡をお願いいたします。

● 患者さんのご紹介は、下記までご連絡ください

地域連携課

🕒 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時
土曜日：午前9時～午後12時

☎ TEL：028-626-5595
TEL：028-626-5674（画像連携用）
📠 FAX：028-626-5795（地域連携課直通）
✉ E-mail：renkei@saimiya.com

救急外来（時間外、日・祝日）

☎ TEL：028-626-5500



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院



🌐 www.saimiya.com/



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です

日本医療機能評価機構